

[トップ](#)[トピックス](#)[新着ニュース](#)[写真ニュース](#)[ランキング](#)[総合](#)[芸能](#)[社会](#)[スポーツ](#)[経済](#)[国際](#)[IT](#)[ライフ](#)[トップ](#)[新着ニュース](#)[社会](#)[社会](#)

沢尻エリカ被告に判決【神保哲生×宮台真司×松本俊彦】薬物事件をめぐる刑罰と報道の問題点

日刊サイゾー / 2020年2月6日 15時30分



[今月のゲスト] 松本俊彦 [国立精神・神経医療研究センター薬物依存研究部部長]

——著名人による違法薬物事件が相次いで世間をにぎわせている。無論、違法薬物は違法である以上、取り締まりは必要だ。だが、薬物依存症の治療に取り組む松本俊彦氏は、薬物依存症は治療が必要な病気だが、日本では社会のステигマがあまりにも強いため、薬物に手を出した人間はおのずと社会から排除されることになると警鐘を鳴らす——。

◇ ◇ ◇

神保 今回のテーマは薬物問題です。有名人の逮捕が相次いでいますが、僕がアメリカのオピオイド問題を取材していることもあって、社会のリアクションやメディアの報道も含めて、一度薬物と依存症の問題をきちんと整理しておきたいと思います。

宮台 特にテレビなどで、例えば痴漢や万引きなども含め、「依存症」という概念がさまざまなものに適用でき、非犯罪化して治療の対象にすることが社会にとって効用が高い、という議論はついぶんされています。しかし、なぜか薬物関連についてはそれに矛盾するような動きが続いているのが不思議です。

神保 そのあたりも考えたく、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長の松本俊彦さんをゲストにお招きました。まず、「依存」という言葉は日常的に使われますが、そもそも「依存症」とはどういうことを指しているのでしょうか？

松本 難しいところですが、自分の中で「大事なものランキング」がありますね。その順番が狂ってしまい、例えば薬物が一番上に来て、本来歩むべき道から外れたり、大事な人を裏切ってしまうなど、価値観の転倒が起きるのが依存症だと、僕は考えています。

神保 依存の対象によっては問題になる場合もありますが、依存自体は悪いことではなく、中立的な言葉ですね。

松本 そうです。例えば、仕事が終わった後にお酒を適度に飲み、リフレッシュしてまた翌日から仕事をがんばっている、という人はたくさんいる。これは、お酒に健康的に依存しているということです。しかし、アルコール依存症になると、飲酒をやめられず仕事に行けなくなったりする。これはうまく依存できていないということで、それが依存症だという言い方をしてもいいかもしれません。

もともと「依存」という言葉は、「アル中」や「アディクト」など侮蔑的な言葉を医学的な概念にしようということで生まれたものです。当初は、「依存物質」を繰り返し使っていると、同じ効果を得るのに必要な量が多くなっていき、急にやめると離脱症状が出るようだ……ということに注目し、「依存」という言葉を引っ張ってきた経緯があります。しかし、身体的依存は、現在の考え方ではそれ自体が病的なことではなく、むしろ中枢神経に作用する物質を投与した生体の正常な反応なんです。例えば、誰でもお酒を飲んでいれば前より強くなるし、コーヒーの眠気覚ましもだんだん効き目が薄くなるでしょう。

[トップ](#)[トピックス](#)[新着ニュース](#)[写真ニュース](#)[ランキング](#)[総合](#)[芸能](#)[社会](#)[スポーツ](#)[経済](#)[国際](#)[IT](#)[ライフ](#)[トップ](#)[新着ニュース](#)[社会](#)[社会](#)

沢尻エリカ被告に判決【神保哲生×宮台真司×松本俊彦】薬物事件をめぐる刑罰と報道の問題点

日刊サイゾー / 2020年2月6日 15時30分

むしろ問題なのは、身体的なものより、精神依存だということです。ただ、それがなんらかの行動への依存の場合、耐性や離脱というものがはっきりせず、それを「依存症」とするのは変じゃないか、ということで「嗜癖行動」などと言われています。

宮台 痴漢や万引きが「嗜癖」だという場合に、治療に際して「逆条件付け」をしようとしますね。例えば、満員電車に乗ること自体が痴漢のトリガーになってしまふなら、そこに接触しないようにする。治療にかかわっている方の多くが、そのような条件付けは脳の問題であり、意志の力でなんとかなる問題ではないのだと言う。そこで「精神依存」という言い方がどれくらい正しいのかと。

松本 よく言われる「意志が弱い」というのは成り立たないと思います。精神依存の根拠と現時点で言われているのは、脳のドーパミン作動性の報酬系ですが、そこにダイレクトに効く薬がないので、仕方がなく心理療法で対処している、というのが依存治療の現状です。

神保 例えば大声で歌うと本当にスッキリします。これと薬物による快感は違うものでしょうか？

松本 おそらく違いません。それでは何をもって精神依存という病的な現象として捉えられるかというと、これはもう医学をはみ出していて、社会が「いただけない」と思ってい

るものを渴望してしまうかどうか。そういう意味では、この「依存症」という病気自体が、社会の価値観に左右されてしまう、純粋な医学的な概念とは言えない面があります。

神保 なるほど。そうすると結局、やはり社会的に「いただけないもの」である「麻薬」とは何か、という問題が出てくるわけですね。月並みですが、広辞苑で「麻薬」と引くと、「麻酔作用を持ち、常用すると習慣性となって中毒症状を起こす物質の総称。阿片・モルヒネ・コカインの類。麻酔薬として医療に使用するが、嗜好的乱用は大きな害があるので法律で規制」と書かれています。麻薬には法律的な定義があり、法律で麻薬に指定されているかどうかが第一義的な条件になりますが、広辞苑による一般的な定義にも『中毒症状』という言葉が出てきます。

松本 おそらくかなり苦しい思いをして書かれたもので、これは医学的な定義ではありません。法律でいう「麻薬」の元になるのは1961年、国連による麻薬に対する単一条約です。当初の議論の中では、アヘン類とコカイン類を麻薬として指定するはずだったのですが、直前になってアメリカが「大麻も入れてくれ」とゴリ押しをした経緯があります。結果として、国際的にはアヘン類とコカイン類と大麻が麻薬となっている。

\びっくり価格で/
快適インターネット 実質
月額

トップ

トピックス

新着ニュース

写真ニュース

ランキング

総合

芸能

社会

スポーツ

経済

国際

IT

ライフ

トップ

新着ニュース

社会

社会

沢尻エリカ被告に判決【神保哲生×宮台真司×松本俊彦】薬物事件をめぐる刑罰と報道の問題点

日刊サイゾー / 2020年2月6日 15時30分

ただ、日本がそれに批准して国内でさまざまな法律を作るときに、そもそも大麻の乱用実態がなく、なかなか「麻薬」とすることができなかった。しかし、GHQから別の指導があり、その中で麻薬取締法ができてしまったんです。そこから、麻薬の定義も日本独自のものになっていきました。

神保 「麻薬」の意味しているところは、国によっても違うと。

松本 専門家の中でもさまざまです。古代ローマ皇帝や中国の皇帝たちも、アヘンなどを舐めながら仕事をしていたという歴史もあり、長い人類と薬物の歴史の中で、法と罰によって薬物をコントロールしようとする試みが実効性をもって本格的に行われた期間は、たかだか60年弱の間ですから。

宮台 戦時中は「猫目錠」=ヒロポンを使っていましたね。戦後も太宰治をはじめとする文人がやはり、ヒロポンを使っていました。

神保 昔は、徹夜で勉強するためにヒロポンを使ったそうですね。ヒロポンは商品名ですが、要するに覚醒剤です。かつて使われていたヒロポンと、今出回っているようなヘロインは、大きく違うものなんですか？

松本 もちろんです。法律がでて違法化されれば、販売者が変わります。それまでの薬局や病院から、やはり反社会勢力になる。そうなると、もっと売らんがために濃度は濃く

なっていきます。だから規制されたあとに出回っている覚醒剤のほうが、かつてのヒロポンの時代よりも純度が高い。

神保 依存させるために。

松本 そういうことです。同様に、今アメリカで問題になっているフェンタニルのような合成麻薬のほうが、ヘロインに比べてもはるかに強い。規制されて、それをかいくぐって出てくるもののほうがやばいということです。

神保 麻薬を取り締まる国内の主な法律には「麻薬及び向精神薬取締法」「覚せい剤取締法」「大麻取締法」「あへん法」「毒物及び劇物取締法」「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法）」などがあります。

松本 日本の薬物に関する法律は奇妙で、増築を繰り返しているので統一が取れていないんです。例えば、麻薬及び向精神薬取締法では、麻薬の中毒者と認定された場合、医師は届け出をしなければいけません。しかし、覚醒剤については別立ての法律だから届け出の義務がない。とにかく抜け穴が多く、一貫性がないのが、日本の法律の特徴だと思います。

宮台 僕がかつて渋谷などをフィールドリサーチしていたころは、抗うつ剤のリタリンという薬が非常に流行しており、その後取り締まられました。どんな基準、どんな行政的な理由で、それまで網にからなかつたものを規制するのでしょうか？

FLET'S 光

フレーティング

\びっくり価格で/
快適インターネット 実質
月額

トップ

トピックス

新着ニュース

写真ニュース

ランキング

総合

芸能

社会

スポーツ

経済

国際

IT

ライフ

トップ

新着ニュース

社会

社会

沢尻エリカ被告に判決【神保哲生×宮台真司×松本俊彦】薬物事件をめぐる刑罰と報道の問題点

日刊サイゾー / 2020年2月6日 15時30分

松本 一応、麻薬指定に関しては部会のようなものがあり、実は僕も委員をしています。動物実験をやったり、あるいは海外で乱用実態があると認定されたものに関しては、かなり積極的に先回りして規制しているところがあります。その中で僕がいつも疑問に思うのは、動物実験でその物質の依存性や神経毒性を調べるときに、対照群が生理食塩水なんです。これでは、カフェインでもいろいろな結果が出てしまう。おそらく当局は、たくさん規制したい。規制利権というものがあり、予算獲得の根拠や省庁の実績になるということは、明らかにあるのだろうと感じています。

神保 もうひとつ薬物を作用別に分けると「中枢神経興奮系／覚醒剤、コカイン、たばこ（ニコチン）」「中枢神経抑制系／ヘロイン、モルヒネ、あへん、大麻、アルコール、向精神薬、有機溶剤」「幻覚系／LSD、マジックマッシュルーム、MDMA、2C-B」となります。意識を覚醒させるアッパー系と鎮痛効果を持つダウナー系に加えて、幻覚系の3種類があるのですね。

松本 よく「日本人は働き者で勤勉だからアッパー系の覚醒剤が好きなんだ」と言われますが、日本人がダウナー系のアルコールが好きで、体質的に飲めない人も飲んでいますし、海外から旅行に来た人は、年末の繁華街に行くとみんな驚きます。日本で覚醒剤が広がっている理由としては、まず戦後の復興期にみんな覚醒剤をきめて日夜働いたことがあるのではと思いますし、また昭和50年代の後半から、やはり反社会勢力が一生懸命営業していたということだと思います。ただ、実は最近の若い人たちはあまり使っていなくて、刑務

所に入っている人たちがどんどん高齢化している。僕の外来に来る覚醒剤依存の患者さんたちも、平均年齢はやはり50代前半です。

神保 若い人は少ないんですか？

松本 若い子たちは大麻や市販薬、処方薬で来ています。ただ、それは薬を使う前からしんどくて、リストカットを繰り返しているような子たちですね。87年に麻薬・覚せい剤乱用防止センターというものができて、「ダメ。ゼッタイ。」キャンペーンを90年代前半にかけて激しく行い、薬物を使っている人に対する偏見やステigmaを強化することによつて、若い子たちが手を出さなくなつたというのはあると思います。

宮台 あれはやはり効いたんですね。

神保 テレビCMで「覚せい剤やめますか？ それとも人間やめますか？」という衝撃的な標語が毎日のように流れていました。アメリカでも似た例があり、ニクソン政権は「麻薬戦争（War on Drugs）」を掲げ、麻薬を絶対悪として社会から隔離する政策をとった。これも、普通の人が麻薬に手を出さないようにする効果はありましたが、一方で、一度手を出してしまうと完全に社会から排除されてしまう原因にもなっています。

3月・4月スタートの
お仕事多数!

- 未経験OK
- 年間休日120日以上
- 残業なし
- 高時給

[トップ](#)[トピックス](#)[新着ニュース](#)[写真ニュース](#)[ランキング](#)[総合](#)[芸能](#)[社会](#)[スポーツ](#)[経済](#)[国際](#)[IT](#)[ライフ](#)[トップ](#)[新着ニュース](#)[社会](#)[社会](#)

沢尻エリカ被告に判決【神保哲生×宮台真司×松本俊彦】薬物事件をめぐる刑罰と報道の問題点

[日刊サイゾー](#) / 2020年2月6日 15時30分

宮台 オランダの実験で、高校生を3つのグループに分け、ひとつのグループには「ダメ。ゼッタイ。」のような話をして、2つ目のグループには「なぜやってはいけないのか」という説教をし、3番目のグループには体験者を置いてしゃべらせる、というものがありました。追跡調査の結果、意外なことに、その後薬物に手を染めて抜けられなくなる人間がもっとも少ないので3番目のグループで、実はもっとも多かったのが「ダメ。ゼッタイ。」のグループだったと。僕はDARCのレクチャーに出たことがあります、やはり、最初に薬物による「いい体験」を聞き、そのあとにお釣りがくるくらい「悪い体験」を聞くというのは、かなり効果的だと思いました。

松本 おっしゃる通りです。僕自身、昔は「ダメ。ゼッタイ。」的な講演をして回った時期がありますが、アンケート調査をすると、9割の子たちは「絶対に薬物はやらない」と答えるのですが、残りの1割の子たちは「自分を傷つけるだけなんだから、やりたいやつは勝手にやればいい」と答えるんです。そして、その1割の子たちには自傷経験がある。大抵、アルコールもタバコも、市販薬の乱用も、アンセーフティなセックスもすでに経験している子が多くて、薬物乱用リスクが高い集団なのです。つまり、「ダメ。ゼッタイ。」というのは、おそらく薬物のリスクが一番高く、一番届けなければいけない子たちに届かない言葉なのだといえます。

この言葉の大元は、国連が出した「Yes To Life, No To Drugs」です。これを「ダメ。ゼッタイ。」と訳したら、受験では絶対にバツですよね。つまり、人生にイエスと言えな

い子たちをどう支えるか、という視点なしに、ただ薬物のコントロールだけで対策をとろうとした日本の問題だと思います。

神保 松本さんは、よく「刑罰ではなく治療を」という言い方をされています。治療を受けないと、刑務所を出てきてまたやってしまう人が多く、ある意味で刑罰が治療を阻害している面があるわけですが、日本の場合には規制利権というものもあり、簡単に変わりそうにない。これを変えるにはどうしたらいいのか。日本は薬物問題で誰かが捕まると、その人が出ているシーンをカットしたり、ドラマを放送しないのが当たり前になっていて、誰が代役になるかがトップニュースになるような状況です。日本の薬物に対するややもするとヒステリックにも見える反応は、どこから来ているのでしょうか？

« 1 ... 3 4 5 6 7 ... 9 »

日刊サイゾー

今、あなたにオススメ

FLET'S 光

フレーティング

\びっくり価格で/
快適インターネット 実質
月額

トップ

トピックス

新着ニュース

写真ニュース

ランキング

総合

芸能

社会

スポーツ

経済

国際

IT

ライフ

トップ

新着ニュース

社会

社会

沢尻エリカ被告に判決【神保哲生×宮台真司×松本俊彦】薬物事件をめぐる刑罰と報道の問題点

日刊サイゾー / 2020年2月6日 15時30分

松本 僕は、いじめの心理に近いと思っています。マイノリティの人たちを見つけると、そこでみんな一斉に攻撃することによって排除する。順法精神みたいなことを強調する人もいますが、みんな想像力がなくなっていて。合法か違法かということだったら、極端な話、ホロコーストやアパルトヘイトだって、その当時、その国では合法だったでしょう。そういうことを疑うような気持ちがなくなってしまっている。

宮台 僕の言葉でいう、言葉の自動機械、法の奴隸、損得マシーンが増えるということです。フロイト派的にいうと、これはすべて不安の穴埋め。実際の内容に意味があるかどうかではなく、自分の心に効果があるから言っているだけ、という面が非常に強い。それが現状だとすると、実際に何が社会に役立つかという視座にできるだけ多くの人にシフトしていただくにはどうすればいいかですね。

松本 「ダメ。ゼッタイ。」の洗脳を解くのは大変で、以前、学校にDARCの人を連れて行こうとしたら、「薬物依存症から回復できることを知ると、使うバカがいるからやめてほしい」とストップがかかってきました。とにかく我々は、粘り強くエビデンスを出していくことだろうと思いますが、ただマスメディアがなかなか取り上げてくれない。

宮台 そうですね。インターネットが広がったことで、そういう情報を自分で探索している人は、昔と違ってグローバル水準の標準をそれなりに知っていらっしゃると思いますが、その情報とテレビの情報の乖離が大きすぎる。

神保 マスメディアに関しては、脊髄反射的に「ダメなものはダメ」という発想で、あまり深くモノを考えずに番組を作っているところはあるでしょう。ただ、TBSラジオの荻上チキさんの番組なんかはある程度独立した編集方針で番組を作っているから、薬物問題でもしっかりととした問題設定をしています。そういう番組が増えてくれれば、それまであまり深くモノを考えずに「ダメ、ゼッタイ。」だけで番組を作ってきた人たちも、流れに乗り遅れるのは怖いから、徐々にスタンスを変えてくる可能性はあると思います。

メディアの報じ方については、NPOなどによって、こういう報道は避けるべきだというガイドラインも作られていますね。こちらについてもご説明ください。

松本 まず、白い粉や注射器のようなイメージカットを使わない。それが再使用のトリガーになってしまふからです。また、例えばピエール瀧さんが捕まったとき、韓国紙幣のウォンを使って……という、細かいことが報じられていましたが、これも関心を煽ってしまう。あとは人格否定ですね。16年に高知東生さんが麻取に捕まったとき、「来てくださってありがとうございます」と言いました。これに対して、TBSの『ビビット』という番組でテリー伊藤さんが「何が『ありがとうございます』だ、全然反省していないじゃないか」と言っていましたが、僕の患者さんにも「ありがとう」という人は多く、つまり「やっと薬をやめられる」と安心するんです。薬物依存症の人たちは、一連の刑事司法の手続きの中で、ネガティブな自己ラベリングをしています。そういう人たちに人格否定のような言葉を投げかけければ、一生懸命治療した先に希望が見えなくなつて、ドロップアウトしてしまう。

[トップ](#)[トピックス](#)[新着ニュース](#)[写真ニュース](#)[ランキング](#)[総合](#)[芸能](#)[社会](#)[スポーツ](#)[経済](#)[国際](#)[IT](#)[ライフ](#)[トップ](#)[新着ニュース](#)[社会](#)[社会](#)

沢尻エリカ被告に判決【神保哲生×宮台真司×松本俊彦】薬物事件をめぐる刑罰と報道の問題点

[日刊サイゾー](#) / 2020年2月6日 15時30分

また、雇用を奪ってしまうことも問題です。僕も何人か著名人の治療をしていますが、彼らこそ、仕事を奪われると本当にお金がなくなってしまう。そんなときに、「キャバクラの雇われ店長をやってくれれば、月200万円支払う」などという話がくれば乗ってしまいやすいし、そこでまた薬物と遭遇しやすい環境に身を置くこととなってしまいます。安心して治療に打ち込むには、経済的な保証、つまりなんらかの収入源が必要なのです。その意味でも、映画の配給停止やCDの回収といったことはやめていただきたいです。

神保 あとは憶測で勝手に物語を作り、転落や墜落の結果、薬物に走ったというような定番の物語に落とし込むことも問題だと。

松本 本当に失礼だし、変な刷り込みをしないでほしいと思います。とにかく言動にも「反省」を求めるが、僕らの病院に初めて来たとき、反省の言葉をたくさん言う人ほどすぐに治療に来なくなりますし、むしろ「反省は必要ないから、とにかく治療プログラムに参加してくれ」と思う。

神保 「スクープとして扱わない」というのもありますが、これはどういう意味ですか？

松本 事実がはっきりしないのに、疑惑の段階で書き立てたり、こっそり治療しているものも書かれたり、週刊誌を読んでいると驚くことが多いです。明らかに警察や麻取が逮捕前にリークしている。捜査の段階ではまだ推定無罪の身柄ですし、守秘義務違反としてかなり深刻だと思います。許してはいけない人権侵害です。

神保 一方で「家族の支えで構成しました」みたいな美談仕立てにするのもよくないのですね。

松本 家族は振り回されて本当に苦労しています。むしろ家族が手を離し、我々支援者がサポートするほうがうまくいくんです。それなのに、「奥さんがしっかり支えて」などと言われてしまうと、本来の依存症治療のあるべき方向と反対に行ってしまう。家族ではなく、地域で支え合わなければいけません。

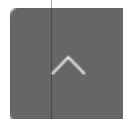
宮台 家族が助けてくれるという期待があったり、自分がこうなったのは家族のせいだという依存からくる恨みがあったり、そういう関係性から切り離さないとダメだというのは、映画やドラマの枠の中でさえ説得的です。

神保 こうして見ていくと、今のテレビは、本来は避けるべきことをことごとくやっている感じですね。

松本 テレビの仕事をされている方たちからすると、手っ取り早く視聴率が取れる方法だと思います。だから我々も、代替案として「このほうがもっといい視聴率が取れるし、評価される」というものを提案していきたいと思っています。

« 1 ... 5 6 7 8 9 »

日刊サイゾー



今、あなたにオススメ

人気

セール

人気

人気

トップ

トピックス

新着ニュース

写真ニュース

ランキング

総合

芸能

社会

スポーツ

経済

国際

IT

ライフ

トップ 新着ニュース 社会 社会

沢尻エリカ被告に判決【神保哲生×宮台真司×松本俊彦】薬物事件をめぐる刑罰と報道の問題点

[日刊サイゾー](#) / 2020年2月6日 15時30分

神保 最後に非常に大事な言葉で、「ハームリダクション」というものについて聞かせてください。

松本 ただ規制を強化するだけでは薬物の被害が減らないという反省から、ヨーロッパを中心に広がっている、薬物使用による二次的な被害を抑えるための取り組みです。例えば、取り締まりを強化するより、安心安全なヘロインの使い方を指導するためのナースが常駐している「注射室」を作る。この試みは

非常に成果が上がったんです。HIVや薬物の過剰摂取で死亡する人が激減したし、懸念された地域住民の犯罪の増加もなかった。それどころか、注射室に通う中で気が変わって、断薬プログラムに行く人が結構いたんです。それから、ひとり親の女性薬物乱用者が子育ての悩みを相談できるようになり、子どもの虐待死が減少したという話を聞いたこともあります。つまり一番悪いのは、薬を使う・使わないではなく、孤立すること。ハームリダクションは、一人ぼっちにさせない政策であって、とにかく彼らとコンタクトを取って話をする。彼らが援助者を避けないようにするためににはリスペクトしてあげることが必要で、僕は人権尊重の倫理的なかかわりだと思っています。

神保 アメリカでもなかなか進まない中で、日本ではさらに難しいかも知れない。

松本 その中で、日本でまずできることは何かというと、治療や支援の場で、絶対に通報しないということです。安心して相談したり、治療を受けたりできる場所にしなければいけない。また、規制を厳しくするほど出回る薬物はどんどんやばくなっていますし、危険ドラッグが流行したときは、規制を強化するたびに死亡する人もどんどん増えていった

んです。ヘロインにしても覚醒剤にしても、長い歴史がありますから、安全性は確認されている。しかし危険ドラッグは何が入っているのかわからない。だから、買った危険ドラッグの中身を調べてくれるようなセンターもあったほうがいい。

神保 なるほど、持ち込んだら通報されるのでは、誰も持ち込みませんね。

松本 そうしないと命を守れません。例えばオーストラリアでは、子どもたちに対する薬物乱用防止教育のポスターには、例えばクラブで誰かが薬物による痙攣発作を起こしたとして、絶対に捕まえたりしないから救急車を呼んで、と書いてある。これが大事なのですが、日本だとそれができないから、押尾学さんのあのような事件が起きました。日本の政府の方針としては、現時点ではハームリダクションは否定していますが、依存症支援者の中では、みんな一生懸命に勉強しているところです。

FLET'S 光

フレーティング

\びっくり価格で/
快適インターネット 実質
月額

トップ

トピックス

新着ニュース

写真ニュース

ランキング

総合

芸能

社会

スポーツ

経済

国際

IT

ライフ

トップ

新着ニュース

社会

社会

沢尻エリカ被告に判決【神保哲生×宮台真司×松本俊彦】薬物事件をめぐる刑罰と報道の問題点

日刊サイゾー / 2020年2月6日 15時30分

宮台 10年ほど前のピュー・リサーチの調査で、政府がひとりで暮らせない貧困者を助けることに反対するかと聞くと、ヨーロッパや中国ではだいたい8~9%が反対すると答えるのに対して、日本では驚くことに38%も反対する、という結果が出ました。いわゆる自己責任原則が蔓延しており、貧困でさえそういう話になっているのに、麻薬や大麻その他についてそういう態度になってしまふのは推して知るべしですね。

神保 本当は支えたほうが社会コストが安いのに。

宮台 そう。どうして多くの国が貧困ケアを大切にするかというと、それが社会にとっていいから。簡単に言うと、地域の共同性を保つにはそれしかないからです。だから、貧困は個人や世帯の問題ではなく、地域全体の問題だと考えられるが、日本人はまったくそう考えられる状態じゃない。

ただ、先ほど松本さんがおっしゃったことで、薬物に関する規制は社会や個人に対する害悪というより、もっぱら政治的な経緯で決まっていることがわかるだけで面白いし、目から鱗ですよね。こういう番組が増えると、言葉の自動機械になっている人間たちから影響力を奪うことができます。それでは彼らがどうやって憂さを晴らせばいいのか、という問題が出てくることは確かですが、そういう悪い効果をとにかく提言することが急務だと思います。

松本 そうですね。僕も薬物が健康にいいとは思っていませんし、健康に悪い、害があるということで薬物を批判するのは当然の話だと思いますが、それと使う人とは切り分けて考えてほしいんです。いろんな不利益があってもやめられない、いわゆる依存症になっている人と、同じ薬物を使ってもやめられる人がいる。その中で、依存症になる人は、ほかに困った問題がある人がほとんどなんです。痛みを抱えた人がいるんだ、人生にイエスと言えない人がいるんだということは、忘れてはいけないと思います。（月刊サイゾー2月号より）

●まつもと・としひこ

1967年、神奈川生まれ。93年、佐賀医科大学医学部卒業。医学博士。横浜市立大学医学部附属病院などを経て、15年より現職。17年より同センター病院薬物依存症センターセンター長を兼務。著書に『薬物依存症』（ちくま新書）など。

●神保哲生 [ビデオジャーナリスト]

1961年生まれ。ビデオジャーナリスト。ビデオニュース・ドットコム代表。代表作に『ツバルー地球温暖化に沈む国』（春秋社）。『地雷リポート』（筑地書館）、『PC遠隔操作事件』（光文社）など。

●宮台真司 [社会学者]

1959年生まれ。首都大学東京教授。社会学者。代表作に『日本の難点』（幻冬舎新書）、『14歳からの社会学』（世界文化社）、『私たちはどこから来て、どこへ行くのか』（幻冬舎）など。

●『マル激トーク・オン・ディマンド』とは

神保哲生と宮台真司が毎週ゲストを招いて、ひとつのテーマを徹底的に掘り下げるインターネット放送局「ビデオニュース・ドットコム」内のトーク番組。スポンサーに頼らない番組ゆえ、既存メディアでは扱いにくいテーマも積極的に取り上げ、各所からの評価は高い。（月額550円／税込）

HP : <http://www.videonews.com>

外部リンク

「帰ってこんといいて！」上沼恵美子があえて叱咤激励で沢尻エリカ復帰の“キーマン”に！?

芸能界ルールは完全無視!? ピエール瀧の早すぎる“俳優復帰”が沢尻エリカの追い風に

沢尻エリカ初公判のウラで、元ICONIQがエイベックスを“ひっそり退社”的謎

沢尻エリカ、『全裸監督2』で“NGなしのカラミ女優”田中露央紗役に白羽の矢

病室では元気だった!? 沢尻エリカの漏れ伝わってきた近況「差し入れの高級寿司4人前を…」